

日高市おでかけタクシー・ワゴン の利用実態調査の実施

利用実態の把握について

- おでかけワゴン・おでかけタクシーについては、これまでの市の交通施策では扱われていなかった新たな事業であり、今後は、行政が中心となってPDCAの運用の中でスパイラルアップを図っていく必要性が高い
 - 令和7年度以降は、行政・交通事業者間で継続的に利用実態に係るデータを取得し、モニタリング（利用実態に係る考察並びに改善案の検討）を行う
 - モニタリングの結果については、随時地域公共交通協議会で報告を行う
- 公的資金の投入の妥当性の検証のためには、提供するサービスの内容、経済性、持続性、安全性等の観点で合理的な手段が運用されているかを確認する必要がある

＜評価の視点＞

- モビリティが広く利用されているか？
- 特に必要性の高い層（移動制約者等）によってモビリティが利用されているか？
- モビリティの利用によって市民生活の悪化が阻止されているか、もしくは改善しているか？
- モビリティの運営が持続可能なものになっているか？

おでかけワゴンの利用実態の把握について

1. 継続的に把握すべき事項（全便で把握する事項）

（1）利用者数に関すること

	調査項目	調査方法
①	便別の乗降者数	乗車時に運転士が記録
②	停留所別の乗降者数	乗車時に運転士が記録
③	平均乗車人数・乗合率	市で管理

（2）費用負担に関すること

	項目	調査方法
①	市負担額	市・運行事業者が記録
②	利用者負担額	市・運行事業者が記録（運賃収受については市による実地検査を予定）
③	収支率	市で管理
④	キャッシュレス決済の利用実態	車載機器で自動的に記録

（3）サービス水準に関すること

	項目	調査方法
①	運転手からの意見・要望	乗車時に運転士が記録
②	利用者からの意見・要望	市・運行事業者が記録

おでかけワゴンの利用実態の把握について

2. 一定期間に限定して調査すべき事項（モニタリング調査）

【乗降調査】

◆ 調査項目

	項目	内容
①	利用者の属性	年齢層（学生・社会人）・割引適用・移動制約の有無（ベビーカー・手押し車・杖・マタニティマーク 等）
②	乗車運賃の支払い方法	現金・キャッシュレス決済
③	乗降者数	停留所別、便別乗降者数

◆ 調査時期

令和7年7月中旬～下旬（各系統1回）

◆ 調査対象

おでかけワゴン全路線・全便（始発～終発）を対象とする。

◆ 調査方法

対象となるおでかけワゴンに調査員が乗車（満席が想定される便は避ける）し、調査項目を目視により記録する。

※市職員による乗り込み調査

おでかけワゴンの利用実態の把握について

【意識調査①（利用者向け）】

◆ 調査項目

	項目	内容
①	基本属性	年代・居住地・同居家族・運転免許証の有無・自家用車の有無・移動制約の有無（ベビーカー・手押し車・杖・マタニティマーク等）・日常的に利用する交通手段
②	利用に係る詳細	利用目的・利用頻度・活動先（目的地）
③	制度内容	運行区域、運行時間・曜日、運賃、停留所
④	利用者満足度	利用満足度、外出機会の増加比率
⑤	利用に係る意見・要望	利用者目線での要望、提案

※調査の論点を正しく維持するため、公的資金の投入の考え方や実態を示した上で調査を実施する。

◆ 調査時期

令和7年7月中旬～下旬

◆ 調査方法

バス車内・各停留所・公共施設、市HPにアンケート調査用紙（WEB回答可能）を設置し、一定期間（2週目～3週間）の調査期間を設けて実施する。

おでかけワゴンの利用実態の把握について

【意識調査②（居住者向け）】

◆調査項目（市民コメント形式を想定）

	項目	内容
①	基本属性	年代・居住地・日常的に利用する交通手段
②	利用意向	今後の利用の可能性、利用しない理由
③	運行に係る意見・要望	居住者目線での要望、提案

※調査の論点を正しく維持するため、公的資金の投入の考え方や実態を示した上で調査を実施する。

◆調査時期

令和7年7月中旬～下旬

◆調査方法

沿線の地元区長の協力を得ながら、回覧板で調査票を配布（WEB回答を基本）し、一定期間（2週間～3週間程度）の調査期間を設けて実施する。

おでかけタクシーの利用実態の把握について

1. 継続的に把握したい事項（全便で把握する事項）

- ・ 利用者属性、回数等 ※利用者情報と紐付けられている
- ・ 利用者の乗降ポイント
- ・ 市負担額（市で把握）
- ・ 利用者負担額・メーター運賃に係る利用者負担割合（精算時に確認）
- ・ 運転手からの意見・要望（運転手が随時記録）
- ・ 利用者からの意見・要望（運転手が随時記録）

2. 一定の期間に限定して調査すべき事項（モニタリング調査）

- ・ 利用者（登録者）を対象としたアンケート等の実施

	項目	内容
①	利用者属性等	登録番号・利用目的・利用頻度・運転免許証の有無・代替交通手段（これまで利用していた移動手段）
②	利用制度内容	運行区域、運行時間・曜日、利用料金、乗降場所
③	利用満足度	利用満足度、外出機会の増加比率、料金感度
④	利用に係る意見・要望	利用者目線の要望・提案

※調査の論点を正しく維持するため、公的資金の投入の考え方や実態を示した上で調査を実施する。

◆ 実施方法

タクシー車内、市HPにアンケート調査用紙（WEB回答可能）を設置し、一定期間の調査期間を設けて実施する。